

---

○議長（稲葉昭宏君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 3時00分）

---

◎議案第52号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（稲葉昭宏君） 日程第11、議案第52号 平成26年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎき荘」事業会計補正予算（第1号）についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（齋藤文彦君） 議案第52号は、平成26年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎき荘」事業会計補正予算（第1号）についてです。

詳細は担当課長をして説明します。

（企画観光課長 山本 公君 提案理由説明）

○議長（稲葉昭宏君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

質疑はありませんか。

○9番（一瀬寿一君） 質疑をやめようかと思ったけれど、ちょっと誰もでないようだから、ちょっとお伺いします。

まず、借入20年はわかります。これをこのまま温泉の方からも20年、一般会計からも20年、我われはもう死んでいるかもしれない。20年経つと。そのときに、果たして終わったかどうかということもおそらく確認できないと思うわけですが、本来的にいうと、基本的なものはまつぎき荘を建てた時点の負債金、その要するに返済だということで、ずっといるならいいけれども、ちょっと小手先のことで、一般会計から借りてみたり、温泉から借りてみたりじゃなくて、町自体がもうちょっと深い考え方をもっと絞って、そして、どうせこれは町で借りているんですよ。町長が。振興公社だって、町の借金ですよ。実際はね。

だから、そこのところを・・・、要するに、20年なら20年低利な・・・、研究をして安い金利で、全く返済に今の売上から、要するに、金利を払って、償却を引いて問題なく返済できるような形をなんでもっと早くとらなかったのかなというのが私の意見ですけれども。

だから、なんか小手先ばかりでやっているような気がするわけですよ。だから、将来的にそれをずっと20年やるのか、やらないのか、その辺をどこかで見直すのか、どうするのか、

考え方を考えるのかどうか、その辺、私はほかの質問はしませんけれども、これは、町長、副町長、その辺をちょっとお伺いします。

○町長（齋藤文彦君） 本当は一瀬議員が言われるみたいに、本当に戦略的にということではなくて、小手先でやってきたというところがあるわけですが、今の質問に対して、これからどういうふうにするか、内部でちょっと考えてみたいと思います。

○9番（一瀬寿一君） これで終わりますけれども、別に私は、いまいったように、借入にあれじゃなくて、温泉から一般会計から、これを注文をつけて、どうのこうのと言っているんじゃないやしませんよ。時と場合で、これはもうやれなくなっていますから、だから、仕方がないわけですが、これがいまできた時点で、しばらく考え直して、もう一度基本的なことをやってくれるかどうかということをぜひ検討してもらわないと町民のため、皆さんのためになるわけです。

だから、結局、今のこの伊豆半島のなかの宿泊施設とか、あれを全部みてください。もうほとんど低迷して借金でみんな苦勞して、いつよそうか、よすによせない、借金があるから、やめられないんです。というような状況がみんな続いているわけですね。

ですから、ほかのことをいってもしょうがないわけですが、それだけいま伊豆半島は疲弊して本当に困っています。

そして、今度は、地震の、耐震の関係でホテル・旅館、要するに、ちょっといま記憶にありませんが、何㎡以上は全部27年度に見直さなければならぬ。まつぎ荘はそんなことはありませんけれども、そういったなかでどんどん減ってくる。その辺も一つ考慮しながらまつぎ荘が生き延びていくための考え方をしっかりと対応していただきたい。これはお願いしたい。

○町長（齋藤文彦君） まつぎ荘は松崎町の財産ですから、松崎町が最後まで責任を持たなければいかんと思っていますので、一瀬議員がいうみたいにいい方法ができれば考えてみたいと思っています。

さきほど関議員に言われましたけれども、本当に議員の皆さんが変わってわからなくなると困りますので、そのようなことを加味しながらやっていきたいと思っています。

○1番（藤井 要君） さきほど温泉の関係、これは関連して聞きましたけれども、このあいだの勉強会のときに、年間どのくらい新たな借入というか、条件が変わったわけですので、1500万円くらい年間を通して軽まるんじゃないかというようなことを伺ったんですけれども、いまここで7ページあたりを見ると、5億6700万円ほど他会計借入、合計が出ています

よね。そうすると、それは、年間2つ合わせてということになるかと思いますが、元金償還、利息は年度ごとにだんだん、だんだん元金が減りますので、少なくなりますけれども、今年度、そのところをもう少し説明願いたいと思います。

○企画観光課長（山本 公君） 利率の補正ですとか、あるいは今回繰上償還という形のなかで、お金を変えさせていただいたわけでございます。そういうことをしなければ、年間6000万円とか、そういった部分のお金はこれまでかかってきたわけですが、それを3500万円くらいに・・・、それは期間も当然延びているわけですので、1500万円くらい圧縮をされてきているかなと思います。

今回の償還をすることによって、800万円くらい利息とすれば軽減はされております。年間の借り替え元金が1600万円くらいというようなこととなります。

○議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） 質疑がないようでありますので、質疑を終結したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） 賛成討論なしと認めます。

これをもって討論を終了します。

これより議案第52号 平成26年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎき荘」事業会計補正予算（第1号）についての件を挙手により採決します。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

○議長（稲葉昭宏君） 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

---